

幾何学的情報の変換

1

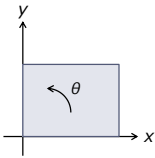
幾何学的変換

- ▶ 一般に、画像中の物体などの位置や形状を変えるような処理のことを、幾何学的変換という。
- ▶ 2次元画像における幾何学的変換には、
 - ▶ 拡大・縮小
 - ▶ 回転
 - ▶ 反転（鏡映）
 - ▶ せん断（スキュー）
 - ▶ 平行移動などや、それらを組み合わせた
- ▶ 線形変換
- ▶ アフィン変換
- などがある。

2

本講義で用いる座標系

- ▶ 本講義では、
 - ▶ 以下に示すような座標系を用いる。
 - ▶ 回転角は、反時計回りを正とする。



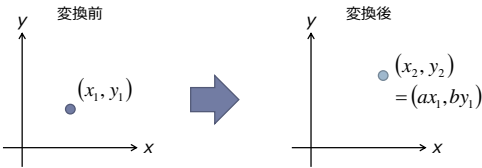
3

拡大・縮小

- ▶ 拡大・縮小は、

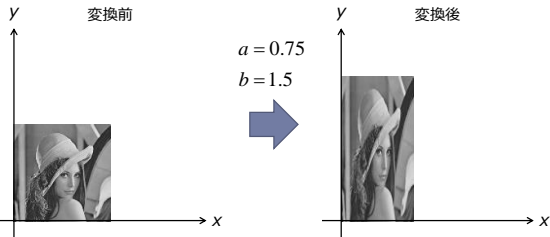
$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

と表わされる。ここで、 a は、 x 方向の拡大・縮小率であり、 b は、 y 方向の拡大・縮小率である。



4

拡大・縮小（例）



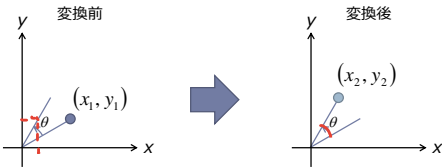
5

回転

- ▶ 回転は、

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

と表わされる。ここで、 θ は、回転角である。



6

Image Information Processing

回転 (例)

$\theta = \frac{\pi}{6}$

7

Image Information Processing

反転

▶ x軸 ($y=0$) に関する反転は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & -1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

y軸 ($x=0$) に関する反転は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

y=xに関する反転は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 0 & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

と表される。

反転は、鏡映とも呼ばれる。

8

Image Information Processing

反転 (例)

y軸に関して反転

x軸に関して反転

y=xに関して反転

9

Image Information Processing

演習問題

▶ 問題1

▶ 以下に示す変換により、座標(10,20)はどの座標に変換されるか、変換後の座標を示せ。

▶ 拡大・縮小

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1.8 & 0 \\ 0 & 0.8 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

▶ 回転

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \frac{\pi}{3} & -\sin \frac{\pi}{3} \\ \sin \frac{\pi}{3} & \cos \frac{\pi}{3} \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

[Handwritten red notes: $\begin{pmatrix} 1.8 x_1 \\ 0.8 y_1 \end{pmatrix}$]

10

Image Information Processing

演習問題 解答 (未公開)

11

Image Information Processing

せん断 (1)

▶ x軸方向へのせん断は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & \tan \theta \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

と表わされる。ここで、 θ は、スキュー角である。

せん断は、長方形を傾けて平行四辺形にするような変換である。スキューとも呼ばれる。

12

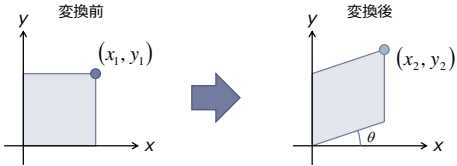
せん断 (2)

▶ y軸方向へのせん断は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ \tan \theta & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

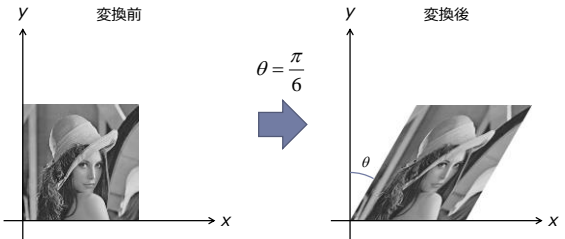
せん断は、長方形を傾けて平行四辺形にするような変換である。スキューとも呼ばれる。

と表われる。ここで、 θ は、スキュー角である。



13

せん断 (例)



14

演習問題

▶ 問題2

▶ 以下に示す変換により、座標(10,10)と座標(10,20)はどの座標に変換されるか、変換後の座標をそれぞれ示せ。

▶ せん断
$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & \tan \frac{\pi}{4} \\ 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

15

演習問題 解答 (未公開)

16

線形変換

▶ 線形変換は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

と表われる。ここで、 a, b, c, d は、任意の実数である。

- ▶ 拡大・縮小, 回転, 反転, せん断は、いずれも線形変換である。たとえば、 $b=c=0$ ならば、拡大・縮小である。
- ▶ 複数の線形変換を組み合わせた変換も、線形変換である。

17

線形変換の組み合わせ

▶ 2つの線形変換

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ c_1 & d_1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 \\ c_2 & d_2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix}$$

を,

$$\mathbf{x}_2 = A_1 \mathbf{x}_1, \quad \mathbf{x}_3 = A_2 \mathbf{x}_2$$

と表すことにする。

▶ いま、行列 A_1 による変換の後、行列 A_2 による変換を行ったものとする、

$$\mathbf{x}_3 = A_2 \mathbf{x}_2 = A_2 (A_1 \mathbf{x}_1) = (A_2 A_1) \mathbf{x}_1 = A \mathbf{x}_1$$

となる。ここで、 A は、

$$A = A_2 A_1$$

結合法則より

と表される 2×2 行列であり、これも1つの線形変換である。

18

線形変換の組み合わせ (例)

- ▶ 拡大・縮小変換し、その後、回転変換した場合、

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix}$$

となり、これは、

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta \\ \sin \theta & \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a & 0 \\ 0 & b \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} \\ = \begin{pmatrix} a \cos \theta & -b \sin \theta \\ a \sin \theta & b \cos \theta \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix}$$

という線形変換に等しい。

19

演習問題

▶ 問題3

- ▶ 拡大・縮小変換 ($a=2, b=1$) し、その後、回転変換 ($\theta=\pi/2$) することにより、座標(10,20)はどの座標に変換されるか、変換後の座標を示せ。

20

演習問題 解答 (未公開)

21

演習問題

▶ 問題4

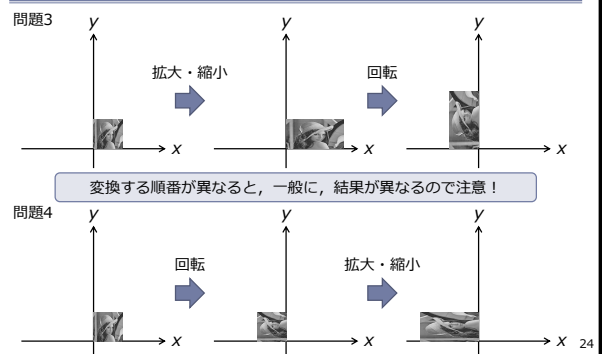
- ▶ 回転変換 ($\theta=\pi/2$) し、その後、拡大・縮小変換 ($a=2, b=1$) することにより、座標(10,20)はどの座標に変換されるか、変換後の座標を示せ。

22

演習問題 解答 (未公開)

23

演習問題 補足

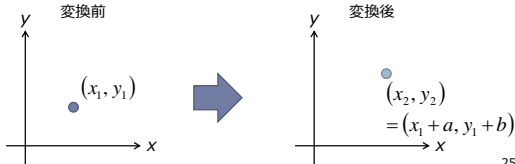


平行移動

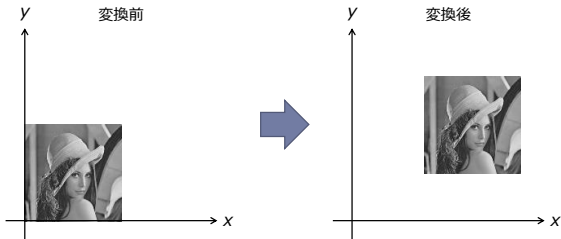
▶ 平行移動は,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} a \\ b \end{pmatrix}$$

と表わされる。ここで、 a は、 x 方向の移動量であり、 b は、 y 方向の移動量である。



平行移動 (例)



アフィン変換

▶ アフィン変換は、線形変換と平行移動を組み合わせた変換であり,

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e \\ f \end{pmatrix}$$

と表わされる。ここで、 a, b, c, d, e, f は、任意の実数である。

- ▶ 拡大・縮小、回転、せん断、平行移動は、いずれもアフィン変換である。たとえば、 $b=c=e=f=0$ ならば、拡大・縮小であり、 $a=d=1, b=c=0$ ならば、平行移動である。
- ▶ 複数のアフィン変換を組み合わせた変換も、アフィン変換である。

アフィン変換の組み合わせ

▶ 2つのアフィン変換

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ c_1 & d_1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_1 \\ f_1 \end{pmatrix}, \quad \begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 \\ c_2 & d_2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_2 \\ f_2 \end{pmatrix}$$

を,

$$x_2 = A_1 x_1 + a_1, \quad x_3 = A_2 x_2 + a_2$$

と表すことにする。

▶ いま、2つのアフィン変換を連続して行っただけのものとして,

$$x_3 = A_2 x_2 + a_2 = A_2 (A_1 x_1 + a_1) + a_2 = A_2 A_1 x_1 + A_2 a_1 + a_2 = A x_1 + a$$

となる。ここで、 A と a は,

$$A = A_2 A_1, \quad a = A_2 a_1 + a_2$$

分配法則より

と表される 2×2 行列と2行の列ベクトルであり、2つのアフィン変換による処理は1つのアフィン変換による処理として表されることになる。

演習問題

▶ 問題5

- ▶ 回転変換 ($\theta = \pi/2$) し、その後、平行移動 ($a=20, b=10$) することにより、座標(10,20)はどの座標に変換されるか、変換後の座標を示せ。

演習問題 解答 (未公開)

アフィン変換（同次座標による表現）

▶ アフィン変換

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e \\ f \end{pmatrix}$$

▶ アフィン変換（同次座標による表現）

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & b & e \\ c & d & f \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

同次座標による表現を用いることにより、アフィン変換を、行列の掛け算という統一的形式によって表すことができる。

31

アフィン変換（例）

▶ 2つの異なるアフィン変換を実施した場合

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ c_1 & d_1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_1 \\ f_1 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 \\ c_2 & d_2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_2 \\ f_2 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 \\ c_2 & d_2 \end{pmatrix} \left[\begin{pmatrix} a_1 & b_1 \\ c_1 & d_1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_1 \\ f_1 \end{pmatrix} \right] + \begin{pmatrix} e_2 \\ f_2 \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} a_2 & b_2 \\ c_2 & d_2 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a_1 x_1 + b_1 y_1 + e_1 \\ c_1 x_1 + d_1 y_1 + f_1 \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} e_2 \\ f_2 \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} (a_2 a_1 + b_2 c_1) x_1 + (a_2 b_1 + b_2 d_1) y_1 + a_2 e_1 + b_2 f_1 + e_2 \\ (a_2 c_1 + c_2 d_1) x_1 + (b_2 c_1 + d_2 d_1) y_1 + c_2 e_1 + d_2 f_1 + f_2 \end{pmatrix}$$

32

同次座標表現を用いたアフィン変換（例）

▶ 2つの異なるアフィン変換を実施した場合

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_1 & b_1 & e_1 \\ c_1 & d_1 & f_1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 & e_2 \\ c_2 & d_2 & f_2 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$$\begin{pmatrix} x_3 \\ y_3 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 & b_2 & e_2 \\ c_2 & d_2 & f_2 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a_1 & b_1 & e_1 \\ c_1 & d_1 & f_1 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a_2 a_1 + b_2 c_1 & a_2 b_1 + b_2 d_1 & a_2 e_1 + b_2 f_1 + e_2 \\ a_2 c_1 + c_2 d_1 & b_2 c_1 + d_2 d_1 & c_2 e_1 + d_2 f_1 + f_2 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

$$= \begin{pmatrix} (a_2 a_1 + b_2 c_1) x_1 + (a_2 b_1 + b_2 d_1) y_1 + a_2 e_1 + b_2 f_1 + e_2 \\ (a_2 c_1 + c_2 d_1) x_1 + (b_2 c_1 + d_2 d_1) y_1 + c_2 e_1 + d_2 f_1 + f_2 \\ 1 \end{pmatrix}$$

33

拡大・縮小，回転，せん断，反転，平行移動の同次座標表現

【拡大・縮小】

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} a & 0 & 0 \\ 0 & b & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

【回転】

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \cos \theta & -\sin \theta & 0 \\ \sin \theta & \cos \theta & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

【せん断（x軸方向）】

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & \tan \theta & 0 \\ 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

【せん断（y軸方向）】

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ \tan \theta & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

【反転】（x軸に関する反転）

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 0 \\ 0 & -1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

【平行移動】

$$\begin{pmatrix} x_2 \\ y_2 \\ 1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} 1 & 0 & a \\ 0 & 1 & b \\ 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} x_1 \\ y_1 \\ 1 \end{pmatrix}$$

34

演習問題

▶ 問題6

- ▶ 同次座標による表現を用いて，問題5に解答せよ。

35

演習問題 解答（未公開）

36